

活動名	団体名 呉子ども祭実行委員会
2010呉子ども祭	地域 広島県呉市
	代表者 実行委員長 藤田 繁逸
	支援金額 20万円
活動概要	
<p>呉の子どもたちが、呉の文化や人々の温もりに触れ、呉の楽しさを知ることのできるふれあいの場を提供することを目的に、テーマを「わんぱく☆わんぱく」と設定し、野外ステージでの子どもたちの発表やミニSL試乗会、手作り玩具の工作・遊びコーナーなど、親子や友達の絆を深めることができる参加型の世代間交流イベントを実施した。この祭の特徴として、市内の子ども会役員等関係団体以外に、高校生ボランティアが前年の10月から企画会議を毎月行い、当日の企画運営に参画していることが挙げられ、高校生の社会性、自立性、創造性を培い地域とのコミュニティを深める場となっている。</p> <p>◆実施時期 2010年5月4日(祝) 9時30分～16時 呉ポートピアパーク(呉市天応大浜3丁目2番3号)</p> <p>◆参加人数 32,000人(内運営者延べ500人)</p>	
参加総人員 32,000名	



子どもたちに大人気のミニSL試乗会



何匹つれたかな？魚釣りコーナー



みんなに届け！ 巨大こいのぼりにメッセージ



歌のおにいさんの楽しいステージ

### ◆実施に伴う効果

各地区子ども会活動の活性化を促進するとともに、各団体のネットワークの形成、交流につながった。また、高校生のボランティア活動など、高校生が主体的に行動することができるきっかけにもなり、「人のために役立つ」喜びを実感できる場として青少年の健全育成にも大きく貢献している。

### ◆苦労した点

参加型・交流型のコーナーについて、高校生部会では前年度の反省を生かしながら新しい企画を検討しているが、テーマの決定に時間がかかるなど、1か月に1度の部会活動では、準備期間が限られ思うようにはかどらなかった。また、補助金や支援金の削減により、予算配分も年々難しくなってきている。なお、運営に関わる高校生は進級・卒業のため、年に1度の機会を逃すことができないため、雨天時の対応策については最善策がないが、警報等が発令されない限りは事業開始の方向で考えている。

### ◆今後の課題・発展の方向性

高校生ボランティアの参画による一定の成果(ネットワークづくりや連携体制、自主性・自立性等)は認められるが、彼らと地区子ども会及び参加団体のコミュニケーションづくりについて、コーナーでのお手伝い等の実績はあるものの、もっと深める必要があると考えている。また、回を重ねる毎に参加者も増えており、補助金等の削減及び事業規模拡大に伴う予算確保が厳しくなり、あわせて来場者向けの駐車場確保が問題となっている。

### ◆活動を終えての感想・意見等

ゴールデンウィークという大型連休中は、各地で多くの行事が開催されるが、呉子ども祭には多くの方に来場・参加していただき感謝している。KSF部会を組織している高校生ボランティア達が、自主的主体的に企画運営へ参画し、自分たちの活動の場として意識し、呉子ども祭に参加する子どもたちが心から楽しく過ごせるよう祭りを盛り上げてくれ、さらに彼ら自身の成長にもつながっていることを、喜んでいる。参加した高校生ボランティアは;卒業してからも参加者として、あるいは出場者として顔を出してくれており、彼らの活動は単なる一イベントへの参加ではなく、次へつながる、あるいは成長し続ける場として大切な役割を担っている。